



たけのこだより

令和6年10月1日



9月に入っても熱中症警戒アラートが連日のように発令され、幼稚園や保育園では運動会の練習や外遊びがなかなかできない日々が続いていましたが、ようやく朝夕は秋めいてきました。子どもの森にヒグラシやツクツクボウシが鳴き、どんぐりも落ちています。もうすぐ落ち葉で埋め尽くされることでしょう。

10月の幼稚園や保育園は、運動会を筆頭に遠足、芋掘りなど行事が盛りだくさんです。たけのこでもリレー遊びやパラバルーン遊びなどを取り入れ、運動会気分を盛り上げています。それぞれの園で子ども達は頑張る姿を見せてくれることでしょう。楽しみですね。子ども達の成長のスピードは個々に違いますが、確かに成長しています。周りの子ども達の姿と比べるのではなく、お子さんの今年の姿と今年の姿を比べ、その成長を喜びましょう。保護者の方と共に私達たけのこ職員も一緒に喜び合いたいと思います。

季節の変わり目で一日の寒暖差が大きくなるので、体調を崩しやすくなります。まだ手足口病や胃腸炎の流行も続いているようです。毎日元気に登所してほしいと願っていますが、体調に不安がある場合は無理をせずお休みをして、回復させてください。特に高めの熱が出た場合は、朝解熱していてもお子様の食欲や機嫌、排便等注意深く見て、登所か欠席の判断をお願いいたします。

《10月のカレンダー》



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|---------|------------------|-------------------|---------------|
| 9/30 | 10/1 | 2 ☆ | 3 岡本学園創立記念日のため 休所 | 4 |
| 7 | 8 | 9 ☆ | 10 | 11 |
| 14 スポーツの日 | 15 避難訓練 | 16 ☆ | 17 | 18 避難訓練 |
| 21 誕生会 (あお組) | 22 | 23 誕生会 (あお・ピンク組) | 24 誕生会 (あお組) | 25 誕生会 (ピンク組) |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

※6ヶ月ごとに個人面談を行い、お子さんのご家庭やたけのこでの様子を伝え合ったり、個別支援計画の進捗状況や追加目標等についてお話ししたりする時間をもうけます。該当の保護者の方にはこちらから連絡いたします。

※公認心理師の島貫 瞳は、23日(水)より産前休暇に入ります。今後の相談につきましては、メールで行う予定でおります。詳細は後日お知らせいたします。

《11月の主な行事予定》



| | | |
|--------|-------------|----------------------|
| 5日(火) | 上履き着用開始 | 11日(月)・13日(水)・14日(木) |
| 18日(月) | あお・ピンク組 誕生会 | 避難訓練 |

※上履き着用開始までに、上履きと上履き袋のご準備をお願いいたします。幼稚園・保育園で使っている物とは別の物をお願いします。特に指定はありません。(上履き袋はエコバッグのような物でもOKです。)

欠席連絡についてのお願い



欠席の連絡を当日アプリでされる場合、バス利用の方は8：15までに送信していただきますようお願いいたします。たけのこでは8：15にアプリの欠席を確認した後、バスの出発となります。それ以降の欠席連絡は、電話にさせていただくと確実です。

また、体調不良での欠席連絡の場合、こちらから連絡をさせていただき、体調をお聞きしています。看病等でご迷惑なこともあると思いますがよろしくお願いいたします。

《たけのこ作品紹介》

あお組の作品

はさみで四角を切りました。
左：さつまいも
右：ジュース（氷）



ピンク組の
作品



はさみの連続切りで柿の形を丸く切りました。

ピンク色の帽子をかぶった自分の旗を作りました



コラム

たけのこの先生

ふと足下を見ると、どんぐりがちらほら見られ、少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。毎日あお組・ピンク組の部屋から賑やかな声が響いてきます。

さて、たけのこの職員にはそれぞれキャラクターがあるのはご存じですか？もしかしたら、お子様から耳にしていたり、連絡帳などから読み取られたりしているかもしれません。ここでどんな職員がいるのか紹介していきます。

「子どもの成長を願い戦う先生」「ちょっとしたいたずらをして関わりを深めていこうとする先生」「いけないことはいけないときちんと伝える先生」「子どもと一緒に身体をたくさん動かす先生」「同じ目線になり表情や言葉で諭す先生」「温かく優しく包み込んでくれる先生」「ピアノを奏でて子ども達に音楽の楽しさを伝えてくれる先生」「メリハリのある先生」と、いろんなキャラクターのある職員です。

子ども達は、このような個性溢れる職員達と関わっていく中でいろいろと感じるものがあり、様々な様子や反応が見られます。「はい！」と返事をしたり、笑ったり、時には涙したり、怒ったり。先生に負けじと一生懸命言葉や動作で思いを伝えてくれることもあります。

それぞれキャラクターの違う職員ですが、共通していることは、子ども達のことを一番に思っているということです。わずかな変化や成長も自分のことのように喜び合い、子ども達の話であふれ、よりよい支援の仕方を話し合い、いつもさらなる成長を願っています。

これからも子ども達と共に楽しい日々を送りたいと思っています。

保育士 平野 由希乃